岐阜高専　バンドン工科大学（インドネシア）と交流協定調印

岐阜高専は，バンドン工科大学（インドネシア）と，教育・研究における学術交流と協力を発展させることを目的として「交流協定」に調印した。

調印式は，北田敏廣校長が１１月３日にバンドン工科大学の本部を訪問し，資産・組織担当副学長イラワティ教授，学術担当副学長カダルシャ教授，国際連携委員長エドワン　カルデナ博士と調印式を行い，後日，アクマロカ学長との間で，正式調印が行われた。

同大学は１２学部６９学科に約１万９千人が学ぶ理科系総合大学で，標高700m の地にあり気候も良く，歴史も１９２０年創立と古く，スカルノ元大統領も学んだことでも知られている。

今後，岐阜高専からは学生の海外インターンシップ派遣先として，また，同大学からの研究者・留学生の受入等の交流が進められることが期待されている。

調印式の模様

（右から北田校長，　カダルシャ副学長，　イラワティ副学長，　カルデナ委員長）